

毎月第三日曜日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

2月18日 午後2時～4時



2月の
ミニ講話

母の「野の道」

草谷 桂子 さん

児童文学者・絵本作家

大正九年に御前崎市で生まれた母は激動の時代を生き抜き、去年の夏、百三歳で天寿を全うしました。青年学校で洋裁を教えていた母は、牧之原市の代々神官の家の教員だった父と結婚し、三人の年寄りに仕え、田畑を守りながら、三姉妹を育ててくれました。忙しい中で短歌を詠み、短文を新聞や雑誌に投稿し、新聞を読むのが好きでした。母の短歌を父がワープロで打って完成した私家版短歌集のタイトルは「野の道」です。「まえがき」で母は「……用足しは全て自転車。車の通りが激しいので裏道を走ります。裏道は野の道。春は春の、秋は秋の野の花を愛でながら……。「人の行く

裏に道あり 花の山』こんな格言があります。私の人生も目立たない裏道を来たのかもしれませんが、花の山はありました。人生の道にも……」と記し、「おのずから 会釈して過ぐ 六地蔵 並びておわす 吾の野の道」等の短歌が収録されています。十八歳で家を出た私は母との交流も少なくなりましたが、母は九十八歳の時に大腿骨を骨折して手術し、退院してから、私と妹の家の近くの特養ホームでお世話になりました。その間の母との八年間の濃いふれあいを中心に、母の歩んできた「野の道」と、母への「思い」を語りたいと思います。



プロフィール

- ・児童文学作家
- ・牧之原市出身
- ・家庭文庫(トモエ文庫)を主宰して41年。
- ・日本児童文学者協会会員
- ・童話創作グループ「かしの木」所属
- ・静岡図書館友の会所属



今月は会場のみの開催になります。

今月は、いつものように城東コミュニティプラザ・ハピスポで開催となります。

オンラインから参加はできません。

会場参加希望の方は、開催時刻の二時までに、会場である城東コミュニティプラザ・ハピスポまでお越しください。

申し込み不要です。参加費として百円ご用意お願い致します。水分は各自ご持参をお願い致します。

今後のオレンジカフェ予定

令和6年3月17日(日)

ミニ講話 篠崎勇さん

能登半島地震と南海トラフ大地震

元高校理科教員、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の企画創設から関わり現在はボランティアサポーターガイド、静岡市山岳連盟副会長、など多方面でご活躍中。



篠崎勇さん

令和6年4月21日(日)

ミニ講話 樋口直美さん

千葉県在住 文筆家

レビー小体病当事者



会場の写真

カフェのプログラム

一、ミニ講話 草谷 桂子さん

質疑応答

歓談

二、声のワークショップ 上藤美紀代さん

個別相談(加藤美樹さん)

今月の相談担当者

今月は伝馬町横内地域包括支援センターから、加藤美樹さん(主任ケアマネジャー、介護福祉士)が城東ハピスポにいらして、相談にのってくださいます。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポデイ和かな)

会場提供 **社会福祉法人静和会**

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ orange@npo-humancare.jp



バス: 静岡駅北口、5,6番からのすべてのバスで横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩5分